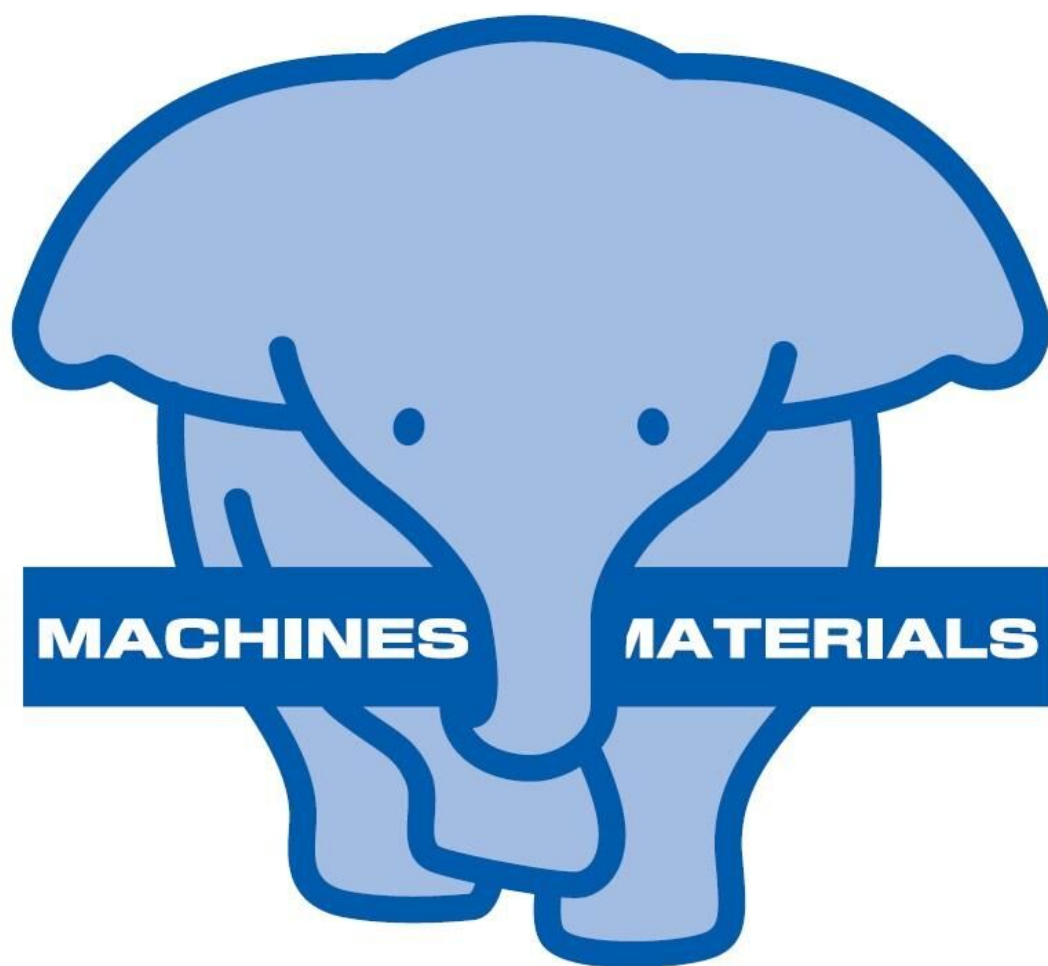


# 環境経営レポート

---



活動期間：2024年8月1日～2025年7月31日

発行日：2025年9月30日

【第三版】

光和産業株式会社



# 目 次

---

1. 組織の概要	… 1
2. 実施体制	… 2
3. 環境経営方針	… 3
4. 環境経営目標（中長期目標）	… 4
5. 環境経営目標の実績と評価、 次年度の取組内容	… 5
6. 環境経営計画の取組状況とその評価	… 6
7. 活動状況	… 7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	… 10
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	… 10

## 1. 組織の概要

### ● 事業者名、代表者名など

光和産業株式会社  
代表取締役 西村 友里佳  
創業 1970（昭和45）年1月26日  
設立（設置） 1970（昭和45）年6月1日  
資本金 30,000,000円

### ● 所在地

本社 〒870-0919 大分県大分市新栄町6番2号  
倉庫

### ● 環境管理責任者名および担当者連絡先

環境管理責任者 : 業務推進委員(協議による)  
連絡先 : 電話 097-558-5553  
FAX 097-552-2559

### ● 事業内容

- ・ 各種工作機械及び部品の販売
- ・ 機械工具、電動工具の販売
- ・ 鋼材、鋼管の販売
- ・ 高圧ガス及び溶材の販売
- ・ バルブ、継手、配管材料の販売
- ・ 建築資材、建設機械の販売
- ・ 上記各項に付帯する一切の業務

### ● 事業規模

- ・ 売上高 69,051 万円
- ・ 従業員数 13 人
- ・ 床面積 2164.54 m<sup>2</sup>

### ● 事業年度

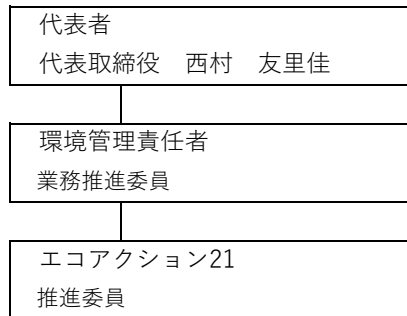
8月～翌年7月

### ● 認証・登録範囲

全組織、機械工具・鋼材・産業資材等の卸売業

## 2. 実施体制

### 環境経営組織図



### エコアクション21に関する役割と責任及び権限

区分	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任者
	・環境経営に必要な経営資源（人・物・資金）を準備する
	・環境管理責任者を任命する
	・経営における課題とチャンスを明確にする
	・環境経営方針を策定（更新）する
	・環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を承認する
	・代表者による全体評価及び目標見直し指示を実施する
	・環境経営レポートを承認する
管理責任者 (業務推進委員)	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者
	・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する
	・エコアクション21推進委員会を統括する
	・環境関連法規等のとりまとめ表及び遵守評価結果を承認する
	・環境経営目標、環境経営計画、実施体制を承認する
	・環境上の緊急事態を特定し、対応策を承認する
	・問題点に対する是正処置、再発予防処置を承認し、結果を評価する
	・環境経営レポートを確認する
	・環境管理責任者を補佐する
	・エコアクション21推進委員会の事務局を兼ねる
	・環境関連文書類を作成及び管理する
	・環境経営に関する目標や実績をとりまとめる
	・外部コミュニケーションに関する受付窓口を担当する
	・環境経営レポートを作成する
	・環境経営目標、環境経営計画を共有する
	・効果的な活動を推進するため、委員間の連携を図る
	・環境活動に関する取組状況や課題の報告、共有する
	・環境教育、環境コミュニケーションを計画、実施する
	・環境経営計画目標、環境経営計画を作成し、取組み推進する
	・活動に必要な手順書を作成、管理する
	・問題点を抽出し、是正、予防措置を実施する
全従業員	・環境経営方針、環境経営目標などを理解し、自らの役割を認識する
	・環境活動に自主的、積極的に参加し、改善提案に努める

### 3. 環境経営方針

#### ■基本理念

光和産業は1970(昭和45)年の創業以来、地場の商社として地域社会とともに事業を継続してまいりました。人間相互の思いやりと自然に対するやさしい心くばりを大切に、これからの世代も末永く安心して暮らせる地域社会と産業の振興に向けて、尽力してまいります。社会・経済環境の変化が激しい中、社員一人ひとりの持ち味を活かし、柔軟かつ継続的な事業経営を目指すとともに、社会の公器として持続可能な社会の発展に貢献します。

#### ■行動指針

1. 具体的に次の事を誓約します。

- (1)電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量の削減
- (2)廃棄物排出量の削減に取り組むとともに、リサイクルの促進
- (3)水資源を大切にして、水使用量の削減
- (4)化学物質使用量の削減、適切な取り扱い
- (5)環境に配慮した商品やサービスの提供を強化し、当社売上高の中での割合の向上
- (6)上記、環境経営の継続的な改善

2. 当社の事業経営に関連する環境関連法規等の遵守を誓約します。

3. 環境経営レポートの定期発行により、環境情報を公開するとともに、地域貢献活動を推進します。

改定日：2024年8月1日

光和産業株式会社

代表取締役 西村 友里佳

#### 4. 環境経営目標(中長期目標)

環境方針 No.	選択課題	基準年度	2024年8月～2025年7月	2025年8月～2026年7月	2026年8月～2027年7月
		2022年度実績	目標	目標	目標
1	二酸化炭素排出量	2022年8月～ 2023年7月	76,092.74	75,283.24	74,473.74
		80,949.72 Kg-CO2	基準年度比 94%	基準年度比 93%	基準年度比 92%
1-1	電力消費量	2022年8月～ 2023年7月	21,756.30	21,524.85	21,293.40
		23,145.00 kWh	基準年度比 94%	基準年度比 93%	基準年度比 92%
1-2	ガソリン消費量	2022年8月～ 2023年7月	8,646.98	8,554.99	8,463.00
		9,198.91 ℓ	基準年度比 94%	基準年度比 93%	基準年度比 92%
1-3	軽油消費量	2022年8月～ 2023年7月	18,437.42	18,241.28	18,045.14
		19,614.28 ℓ	基準年度比 94%	基準年度比 93%	基準年度比 92%
2-1	一般廃棄物排出量	2022年8月～ 2023年7月	257	254	251
		273 袋	基準年度比 94%	基準年度比 93%	基準年度比 92%
2-2	産業廃棄物排出量	2022年8月～ 2023年7月	880	870	861
		936 kg	基準年度比 94%	基準年度比 93%	基準年度比 92%
3	水使用量	2022年8月～ 2023年7月	78	77	76
		83 m³	基準年度比 94%	基準年度比 93%	基準年度比 92%
4	化学物質使用量削減 適正管理	データ無し	化学物質使用量削減/適正管理		
			化学物質は基本的に使用せず、使用する場合は 適正な取り扱いに努める。		
5	環境に配慮した商品や サービスの提供	データ無し	顧客への情報発信の継続		

※電力のCO2実排出係数は、九州電力 2023年の0.389kg-CO2を使用。

## 5. 環境経営目標の実績と評価、次年度の取組内容

対象期間：2024年8月～2025年7月

評価基準：目標達成率（○：100%以上、△：95%以上100%未満、×：95%未満）

環境方針 No.	選択課題		基準年度 2022年8～2023年7月	2024年度目標 基準年度比 94%	2024年度 実績	目標達成率	評価
1	二酸化炭素排出量kg-CO2		80,949.72	76,092.74	60,837.60	125.08%	○
		評価と次年度の取組内容	鳥栖出張所の閉鎖とそれに伴った車両の手放しなどもあり、電力・ガソリン・軽油すべて昨年より使用量が減少した。次年度は今年度ほどの大きな変化はないと思われるのでどのように削減していくか、社内でよく検討し対策していく。				
1-1	電力消費量 kWh		23,145.00	21,756.30	12,260.00	177.46%	○
		評価と次年度の取組内容	細かい不要箇所の消灯やエアコンの温度設定、倉庫内のクレーン使用をなるべくまとめて早々に終わらせるなどの行動をおこなった結果、今年度も電力消費量の削減につながった。他にも削減につながる行動がないか、次年度に向けて協議していく。				
1-2	ガソリン消費量 ℓ		9,198.91	8,646.98	7,272.42	118.90%	○
		評価と次年度の取組内容	トラックの混載対応や急発進・急加速・急停車等を行わない安全を意識した運転（エコドライブ）を実践できたため、目標を達成することができた。次年度も引き続き呼び掛けを継続する。				
1-3	軽油消費量 ℓ		19,614.28	18,437.42	15,192.42	121.36%	○
		評価と次年度の取組内容	昨年度は取引先で2年に1度の定期修理がありトラックでの配送回数が増えた為目標達成できなかったが、今年度は達成することができた。次年度はまた取引先の定期修理が行われるので、そのような外的要因があっても目標を達成できるよう声掛けをしていく。				
2-1	一般廃棄物排出量 袋		273	257	159	161.40%	○
		評価と次年度の取組内容	昨年度からステップアップしてゴミ箱の種類を増やしより厳密な分別に取り組むようになったが、皆問題なく取り組めている。今後も必要に応じて分別表示を追加・変更するなど全員で分別に取り組んでいく。				
2-2	産業廃棄物排出量 kg		936	880	1,196	73.57%	×
		評価と次年度の取組内容	昨年度より排出量を抑えることはできたが、倉庫内の整理をした際に不要な梱包材等を処分するなどしたため、目標達成には至らなかった。 次年度ではなるべく目標達成するようより一層の意識向上に努めるが、あまり排出量に変化が見られなかった場合は、目標の再確認も視野に入れる。				
3	水使用量 m³		83	78	75	104.03%	○
		評価と次年度の取組内容	昨年度はある特定月の使用量が多かったが、今年度はその月についても他の月と同程度の使用量に抑えられた。節水の心掛けが社内に定着してきていると思われるので、今後も継続していく。				
4	化学物質使用量削減 適正管理	化学物質使用量削減/適正管理					
		化学物質は基本的に使用せず使用する場合は適正な取り扱いに努める。					
5	環境に配慮した商品やサービスの提供	顧客への情報発信の継続					

## 6. 環境経営計画の取組状況とその評価

基準：○できた △一部達成 ×できなかった

環境方針 No.		目標達成	具体的な行動（活動）	評価
二 酸 化 炭 素 排 出 量 削 減	1-1	電力消費量削減	1.不在時、不要箇所の消灯徹底	○
			2.長時間不使用時のPC、モニター電源を落とす	○
			3.倉庫クレーンは使用時のみON、使用后OFFの徹底	○
			4.エアコンフィルターの掃除（四半期に1回）	○
			5.温湿度計を活用し、過度なエアコン使用を避ける	○
			6.倉庫の照明は夜間や暗い日のみの使用	○
			7.ブラインドを活用し、遮熱する	○
	1-2	ガソリン消費量削減	1.点検（タイヤの空気圧など）随時	○
			2.エコドライブの励行	○
			3.ハイブリット車使用の継続	○
	1-3	軽油消費量削減	1.点検（タイヤの空気圧など）随時	○
			2.エコドライブの励行	○
2-1		一般廃棄物排出量削減	1.ごみの分別(ゴミ箱にラベリング)	○
			2.裏紙使用の継続	○
2-2		産業廃棄物排出量削減	1.不良在庫削減の為に在庫管理	○
			2.梱包材の再利用	○
3		水使用量削減	1.手洗いは、蛇口をしっかりと閉める	○
			2.節水ステッカー貼付	○
			3.手洗い時、洗い物において、節水に努める	○
4		化学物質使用量削減 適正管理	1.除草剤は使用しない	○
			2.殺虫剤の使用削減に努める	○
			3.SDSによる化学物質含有商品の内容把握と情報管理	○
5		環境に配慮した商品や サービスの提供	1.お客様のニーズに合った商品の提供	○
			2. 環境に配慮した商品を提案する	○



## 7-1. 活動状況

### 安全講習



特殊自動車（フォークリフト）を新規導入した際に、万が一事故が発生した場合の対応について全員で確認しました。

全員で目指せ事故ゼロ！

当社では、作業環境の改善と安全性の向上を目的にフォークリフトを導入し、社員全員が免許を取得いたしました。

男女の区別なく全員が技能を身につけることで、職場の多様性とチーム力の強化にもつながっています。



## 7-2. 活動状況

### ゴミの分別について



廃棄基準の掲示



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



15 陸の豊かさも守ろう

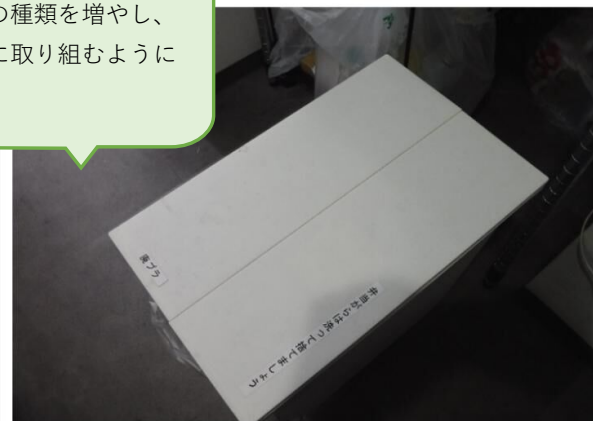
#### 5S活動

(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)

ふつうに整理整頓や清掃をするだけでなく、綺麗な状態を維持すること（清潔）・綺麗に使うよう習慣づけること（しつけ）に社員全員で取り組みます。



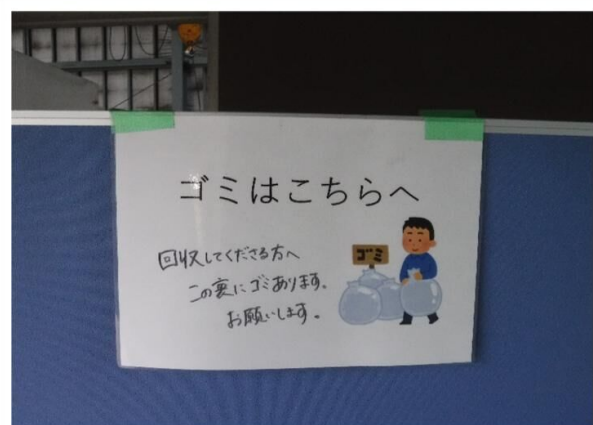
以前よりゴミ箱の種類を増やし、より厳密な分別に取り組むようになりました！



ゴミの分別



分別表の掲示



ゴミ置き場案内

分別表をゴミ箱そばに掲示することで誰でも簡単に分別に取り組めるようになり、ゴミ置き場案内を設置することでゴミがより散らかりにくくなりました。

## 7-2. 活動状況

### 設備の入れ替えや設置について



照明のLED化と遮熱カーテンの入替



エアコンの入替



ウォーターサーバーの設置



トイレ内人感センサーの設置



車両の入れ替え（普通車から軽自動車へ）

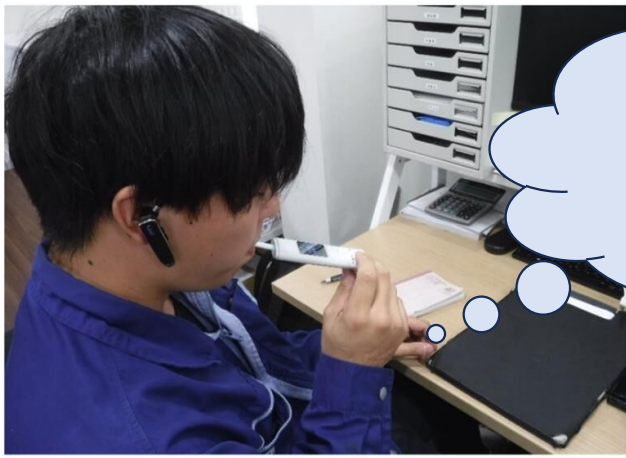
古い設備の入れ替えや新しい設備を導入することによって、普段の行動から二酸化炭素やゴミの排出量を抑えるようにしています。





## 7-3. 活動状況

### 安全への取組み



運転前、運転後の  
アルコールチェックの遂行！  
日々記録し、保管しています。



アルコールチェック



～ 地域の交通安全・社会的責任遂行へ ～

### 熱中症対策



空調服を着用しての作業

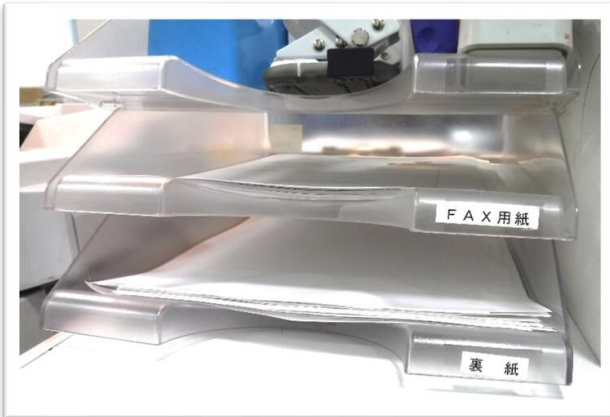


熱中症対策食品



## 7-3. 活動状況

### 資源の再利用



コピー用紙の裏紙の活用



エコキャップ

「捨てずに活かす」新しい一歩。  
資源を再利用する取り組みを始めました。  
みんなの工夫で、ムダを減らし、  
未来を守ろう。

### 節電・節水等の掲示について



電源OFF掲示



節水ステッカー

社員一人ひとりの節電・節水の取り組みは、企業としての環境への責任を果たす基盤であり、持続可能な社会づくりへの貢献そのものです。

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

関連法規法令違反はありませんでした。また、指摘、訴訟、苦情等もありませんでした。

	関連法令	チェック項目	チェック方法	チェック 担当者	実施日 (2025年度)	評価
1	廃棄物処理法 保安基準 委託基準	1 産業廃棄物置場の表示	設置時	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	○
		2 分別、清掃の実施、飛散、漏洩の防止	1回/週（確認）	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	○
		3 マニフェストの管理（5年間保存）	随時	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	○
		4 委託契約書、処理業許可証の管理	1回/年	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	○
		5 委託業者への適切な処理の委託	随時	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	○
2	消防法	1 消火器の設置	随時	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	○
		2 消火器点検	1回/半年（確認）	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	○
		3 非常口の確保	随時	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	-
		4 火災発生時の安全な避難と119番通報	火災発生時	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	-
3	フロン排出抑制法	1 廃棄時、適切な業者への依頼	廃棄時	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	○
		2 回収委託書発行、引き取り証明書受理（3年保管）	廃棄時	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	○
		3 3ヶ月毎の簡易点検、3年に一度の定期点検	1回/3ヶ月	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	○
4	毒物及び劇物取締法	1 劇物の販売の登録者は都道府県知事に申請書 ※毒物劇物一般販売業者登録	申請時 1回/6年 →次回2027年に登録更新	業務推進委員 エコアクション 担当者	9月30日	-
5	自動車リサイクル法	1 リサイクル料の支払	支払い時	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	○
		2 廃棄時、適切な業者への依頼	廃棄時	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	○
6	道路交通法	1 道路交通法の遵守	随時	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	○
7	家電リサイクル法 PCリサイクル法	1 リサイクル料の支払	支払い時	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	○
		2 廃棄時、適切な業者への依頼	廃棄時	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	○
8	高圧ガス保安法	1 高圧ガスの取り扱い技術上の基準に従う	取扱時	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	○
		2 販売事業所ごとに高圧ガス販売主任者を都道府県知事に届出	申請時	業務推進委員 エコアクション担当者	9月30日	○

## 9. 代表者による見直しと評価

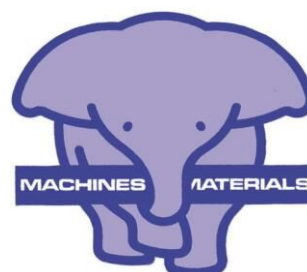
### ◆見直し

環境経営方針：引き続き取り組んでいく。

環境経営計画：引き続き取り組んでいく。

環境経営目標：引き続き取り組んでいく。

実施体制：引き続き取り組んでいく。



### ◆評価

本社社屋改装後の本社への業務集約に伴う鳥栖出張所閉鎖により、二酸化炭素排出量を大幅に削減し、目標達成率125.08%を実現。

省力化への取組として今年度は男女を問わずフォークリフトの免許を取得するとともに、今後とも社員が主体的にそれぞれの経験や技能を活かしてチームに貢献し、必要に応じてリーダーシップを発揮できるよう、環境整備に努めていきます。

また、環境負荷の低減を図るべく、事業用車両の入替時等適時配慮を行っています。

これからも多様な社員一人ひとりが成長を続けられる環境整備を進め、人と環境の双方にやさしい企業として持続的な発展を追求してまいります。